| | |
|---|---|
| 事例No. | 2834 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | 一般市 |
| 団体名 | 岐阜県飛騨市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・関係人口<br>・地域運営組織<br>・ICT |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 関係人口 |

事例内容・タイトル

人口減少先進地の挑戦！地域を超えて支えあう
「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」

出典

地域力創造推進に関する研究会（第5回）

総務大臣賞

岐阜県飛騨市

# 飛騨市（ひだし）

## 人口減少先進地の挑戦！地域を超えて支えあう「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」



飛騨市内の様々な困りごとをプログラム化し、全国の皆さんの力を借りて、交流をしながら解決する支え合いの仕組み。

### ◆事例の概要

「ヒダスケ！」は、困りごとや地域課題を交流の資源として捉え、人と人とのつながりと支えあいを構築する新しい活動で、地域外の方との接点をつくるために、観光や移住とは違う切り口から着想をした活動である。

市民の困りごとや地域の課題を解決するプログラムを住民が作成し、プログラム主催者が「ヌシ」、参加者が「ヒダスケさん」と呼ばれている。参加者には参加後「オカエシ」として主催者の創意工夫で用意する野菜等のお礼や電子地域通貨「さるぼぼコイン」を用意するなど、令和２年４月の運用開始から 100 以上のプログラムが生まれ、延べ 1,000 人を超える参加者があり、地域経済の一助となっている。

平成 29 年から「飛騨市ファンクラブ」を設立し、全国の10,000 人を超える会員と交流を深めるとともに、ウェブ上でマッチングを可能にすることで、コロナ禍であっても地域や年齢の垣根を超えて、幅広く参加者を募集することができ、主催者・参加者にとって満足度の高い取組となっている。



お互い様の精神で、参加者には、主催者よりオカエシを手渡す。

### ◆評価のポイント

飛騨市は厳しい人口減少が続く中で、それを止めるために無理な施策を展開するよりも、地域外との交流をより重要視すべきと判断し、映画「君の名は」のファンが訪れる現象も踏まえて、飛騨市ファンクラブを平成 29 年 1 月に設立した。東京・大阪・岐阜さらに飛騨市で、市長などが参加する気軽なパーティのファンのつどいを開催し、会員はまもなく 1 万人に達する。

ファンクラブ会員との交流の中で地域に貢献したいという会員が少なからずいることに気づいた市職員の議論から、様々な困りごとの解決のために外部の人の力を借りるヒダスケが発案された。インターネットで事務局が、募集主（ヌシ）とその困りごと（集落の景観保全作業、農作物の収穫など)を配信し、それを手伝う意思のある人が参加者（ヒダスケ）となって現地に行くという仕組みである。令和２年４月にスタートし、2 年間で 107 プログラムが実行され、延べ 1038 人がヒダスケとなって参加した。参加者は市からの地域通貨 500 円分とヌシなりのお礼（食事や野菜など）をもらう。旅費等は自費である。

農作物を貯蔵する板づくりの倉がある種蔵集落では、石垣の修復、ミョウガ畑の手入れなどに多数のヒダスケが参加、岐阜大の教授と学生たちも参加した。いまは板倉の宿に五右衛門風呂をつくっている。ミニトマト農園では収穫期には随時お手伝いを募集して、連日の参加がある。飛騨みやがわ考古民俗館では展示の縄文時代に作られた石棒の撮影に多くのヒダスケが機材持参で参加している。企業定年後に移住した人の中には、ヒダスケとして参加しているうちに、周りとの会話からヌシとして納屋の修復を行った例も見られる。

なお、二日連続して異なるヒダスケに参加する場合に、ファンクラブの会員であれば1000 円の地域通貨がもらえるという「お泊りヒダスケ」という取組みも開始された。このようにヒダスケが短期間に活況を呈したことは担当者の予想を超えることであったが、ヒダスケには地元の人も参加するのでそこで交流の輪が広がり、多彩な行動が派生したことも価値がある。自己有用感が都会人の求めるものであったことの発見の意義は大きい。



「岐阜の宝もの」にも選ばれた日本の原風景。高齢化により景観を維持できなくなった石積みをヒダスケで延べ 189 名が参加し復旧した。



一人暮らしの高齢者にとって、自宅の障子張りも一苦労。親子で参加し、子どもでも地域に貢献できることを実感することができる。



コロナ禍で直接参加することができないため、オンラインを活用し地元特産品「寒干し大根」のアンバサダーを募り PR のお手伝い。

DATA

### 岐阜県 飛騨市（ひだし）

団体名▶飛騨市
所在地▶〒 509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2 番 22号
連絡先▶TEL：0577-73-2111　　FAX：0577-73-7077
E-mail：sougouseisaku@city.hida.lg.jp
URL：https://www.city.hida.gifu.jp/

【交通のご案内】
自動車▶東海環状自動車道 飛騨清見 IC より約 30分
中部縦貫自動車道 高山 IC より約 15 分
国道41 号 富山駅より約1時間50分/高山市街地より約20分
鉄　道▶高山本線特急ワイドビューひだを利用
名古屋から飛騨古川まで約２時間 40分
富山から飛騨古川まで約１時間 15 分
高山本線普通列車を利用
飛騨高山から飛騨古川まで約15 分
猪谷から飛騨古川まで約 50 分
飛行機▶東京から来られる場合
羽田空港から富山空港まで約１時間
富山空港からレンタカーで１時間 30 分




●国勢調査人口　（単位：人）

| 市町村名 | 昭和 35 年 | 昭和 55 年 | 平成 12 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 | 令和 2 年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 飛騨市 | 49,391 | 38,384 | 30,421 | 26,732 | 24,696 | 22,538 |

●人口増減率　（単位：％）

| 市町村名 | R2/S35 | R2/S55 | R2/H12 | R2/H22 | R2/H27 |
|---|---|---|---|---|---|
| 飛騨市 | -54.4 | -41.3 | -25.9 | -15.7 | -8.7 |

●高齢者・若年者比率（R2 年）　（単位：％）

| 市町村名 | 高齢者比率 | 若年者比率 |
|---|---|---|
| 飛騨市 | 40.4 | 8.8 |